



WORLD
FEDERALIST MOVEMENT
OF JAPAN

世界連邦

2020年3月28日

NEWSLETTER 第 658 号

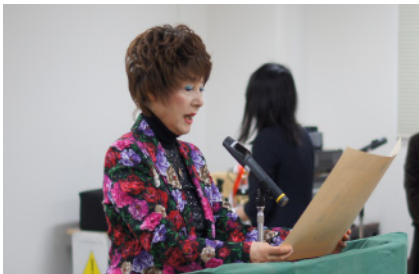
www.wfmjapan.org

発行所 世界連邦運動協会 〒107-0052 東京都港区赤坂7-2-17 赤坂中央マンション303
電話 (03) 6438-9442 FAX (03) 6438-9443 E-mail info@wfmjapan.org wfmjapan

購読 郵便振替 00190-6-29964
年6回 奇数月28日1回発行
購読料は会費・寄付金に含めて収納

文部科学省後援 第48回世界連邦推進

全国小・中学生ポスター・作文コンクール優秀作品展・表彰式



賞状を授与する日下部理事長

第48回世界連邦推進全国小・中学生ポスター・作文コンクール優秀作品展が2月7日から2月20日まで、東京・市ヶ谷のJICA 地球ひろば2階ギャラリースペースで開催された。文部科学省、世界連邦宣言自治体全国協議会が後援。

表彰式は、2月16日、JICA 地球ひろばセミナールーム600で行われ、入選した児童・生徒、父母や親族など約70名が全国から出席。日下部禧代子理事長が文部科学大臣賞状と副賞（トロフィー）、及び海

部俊樹会長賞状と副賞（特賞：楯、湯川スミ賞：ブロンズ、入賞：楯、佳作：メダル）を授与した。今年はポスターが100校1,505点、作文は51校699点の応募があった。表彰式では、文部科学大臣賞を受賞した中澤佑真さん（小学6年）と特賞を受賞した山内月然さん（小学6年）がそれぞれ作文を朗読した。審査講評では、ポスターの部の審査員である廣畑正剛氏から入賞

した一人一人にご講評いただいた。

当日は新型コロナウィルスの感染が不安視される中、ご家族とともに参加、受賞した生徒たちの誇らしげな笑顔がこれからの未来の明るさのように感じられた。21世紀フォーラムを中心としたスタッフ9名の協力もあり表彰式は無事終了した。

（川口 美貴）



作文の部・文部科学大臣賞 「プラスチックのゴミ」

静岡県富士宮市立黒田小学校6年 中澤 佑真

家族で、ファミリーレストランへ行き、ドリンクバーを注文したことがありました。何を飲もうか飲み物を選びに行くと、ドリンクバーコーナーにストローが無いことに気づきました。なぜ無いのだろうと考えていると、座席の広告に「ストローは海洋ゴミをなくすために廃止しました。」と書かれていました。

レストランの広告を読んだ時、スーパーなどで、ビニール袋の有料化が進んでい

ることを思い出しました。また、食事のできるお店では、昔、わりばしを使っていた所が多かったようですが、今ではほとんど使われなくなっています。このように変わってきたのは、ごみが増えているからだと思います。ごみになってしまうような物を、あまり使わないようにすることは、とてもいいことだと思います。

私の住んでいる地区では、最近リサイクルボックスが、一つから二つへ増えました。

自分の家では、生ごみと紙類で分別しています。このような取り組みは今、全国でも行われています。環境のことを考えて、木のストローが開発されたという話も聞いたことがあります。私はこの取り組みに賛成です。

四年生の時、マイクロプラスチックについて学びました。これを食べてしまう魚がいることや、その魚を人間が食べることになるなど、悪い影響が出ています。身近に

あるプラスチックによって、世界中で問題が起こっていることに驚きました。これを解決するためには、私たち一人一人が、決められた方法でゴミを捨てなければなりません。

せん。環境がよいこと、悪いこと、今起きている問題を世界中の人が気付いてくれないといけないと思います。そうすれば、きっとよくなっていきます。そのために、

買い物にトートバックを持っていくなど、まずは自分ができることを少しずつ実行していきたいと思います。

ポスターの部・文部科学大臣賞

岡山県笠岡市立矢掛町中学校組合立小北中学校3年 金光 七穂



作文の部・特賞 「ごみの多さにおどろいた」

京都府綾部市立西八田小学校6年 山内 月然

なにげなくゴミ箱に捨てている物「ゴミ」。ぼくは、これまでゴミについて考えた事がなかった。

平成30年度の綾部市のごみの量は、燃やして処理するゴミが538万9820キログラム、燃やさないで処理するゴミは93万6390キログラムもある。日本全体で一年間に出るゴミの量は約4432万トンだ。この量は、25メートルプール、約42万杯分もあり積み上げると、国際宇宙ステーションより高くなるそうだ。ぼくはこのゴミの多さにとてもおどろいた。「捨てているもの」がそれほど多いとは思わなかった。日本はむだ使いをしすぎているのではない

だろうか。

ぼくは、「世界がもし100人の村だったら」という詩を読んだ。その詩の中には、「100人のうち20人は栄養不足で1人は死にそうなほど。でも15人は太り過ぎである。100人のうち75人は食べ物のたくわえがあり、雨つゆをしのぐところがある。でもあとの25人はそうではない。そして17人はきれいで安全な水がめられない。」と書かれている。

ぼく達日本人は、きれいで安全な水がめて、残してしまったごはん、使える物でもすぐ捨ててしまう。食べ物や物があって当たり前、「捨てる」という事に何の罪悪

感も無い国で生活しているからだ。しかも外国に目を向けると、食べ残しもゴミではなく、命を救う大切な食料となるのだ。

宇宙ステーションにまで達する、日本のごみを減らすために、ぼくは今、自分に出きる事を考えた。ごはんは残さずきちんと食べる。文房具は大切に最後まで使う。小さなことだけど今ぼくに出来ることを、日本中の小学生が行ったら日本のごみは少し減ると思う。小さなことを一人一人が心がけたら、日本のごみはきっと減っていくと思う。

作文の部・特賞 「自分にできること」

兵庫県加古川市立氷丘中学校2年 大西月乃姫

みなさんは、プラスチックが及ぼす影響について考えたことはありますか。

今、生活に欠かせないものとなっているプラスチックは、世界中で問題視されています。

私が、プラスチックについて調べるきっかけになったのは、紙ストローの導入についてのニュースを母から聞いたからです。それで興味をもち、紙ストローについて調べてみましたが、実際の使い心地は分りません。そこで、なぜプラスチックストローから紙ストローに変えようとしているのか、そのことから調べてみることにしました。

今、紙ストローの導入を目指しているお店がたくさんありますが、紙ストローがプラスチックストローより有利な点が多いかと言えば、そうではないようです。紙ストローはプラスチック製よりもコストが高く、耐久性も低いという問題を抱えているようです。それなのに今、多くのお店で紙ストローの導入をめざしているのはなぜなのでしょう。

その理由の一つは、プラスチックによるゴミの問題です。プラスチックはコストパフォーマンスが高く、耐久性があり、腐敗しない特徴があります。とても便利ですが、ゴミとなった場合は、いつまでも地球に残

り、環境を汚染し続ける、という悪い面もあります。具体的には、大きくまとめると三つあります。一つは海洋汚染です。プラスチックは1950年代から大量生産が始まり、現存も多くのプラスチックが海に流れ込んでいると考えられます。プラスチックは微生物に分解されることはないため、ゴミとして長い間、海に存在し続けてしまいます。2050年には海にあるプラスチックの量が、魚の量を超えるとまで言われています。二つ目は、海の生態系への悪影響です。海で海洋ゴミに絡まったりゴミを誤って摂取したりすることで、絶滅危惧種を含む700種の生物が傷つけられたり死んでいます。このうちの92%が海洋プラスチックゴミによるものです。そして三つ目は、マイクロプラスチックの脅威です。プラスチックには様々な物質が付着しやすい特徴があり、有害物質が絡みついていることもあります。そんなマイクロプラスチックを小さい魚が食べてしまい、その魚を大きな魚が食べることで、海洋生物の汚染が広がってしまいます。食物連鎖によってこれが繰り返されることで、有害物質の濃度が高くなることから、生態系に影響が出る恐れもあります。それを食べた人間も何かしらの影響が出る恐れもあります。また、マイクロプ

ラスチックは回収することが困難で、世界の海に5兆あるとも言われています。このように、プラスチックは良いところがある反面、環境問題として取り上げられるほど悪い面もかなりあります。

これらを調べてみて私は、ポイ捨てをしないことや、買い物のときにマイバックを持っていくことで、プラスチックのゴミを減らすことができるのではないかと思います。そして、お店や会社の人々が、プラスチックストローを紙ストローに変える、という取り組みを目標にしているように、プラスチックを使わない商品を開発したり、プラスチックに変わるもので提供していくなら、プラスチックゴミをもっと減らしていけると思いました。初めに取り上げたように、プラスチック製品はとても便利で、私たちの生活にかなり密着しているため、プラスチックを使わないようにしていくには、かなりの負担を受け入れることが必要になってくるので、一人一人が努力しなければいけないし、みんなの協力が必要不可欠になってくると思いました。

「そのうち他の誰かが解決してくれるだろう」、そんな風に待つのではなくて、自分にできることからすぐにでも実践していく必要があると思います。

作文の部・特賞 「豚コレラから考えた世界平和」

岐阜県海津市立城南中学校2年 伊藤大貴

「だめだめ、豚コレラだよ。買わないよ。」先日、部活で遠征に行った帰りに立ち寄ったサービスエリアの店先から、この言葉が聞こえてきた。僕は、嫌な空気を感じ、固まってしまった。

周りには、たくさんの店が並び、お土産が積み上げられ、テイクアウトコーナーからはとても良い香りが漂っていた。僕は、その香りに誘われて店の前に立った。岐阜県産豚肉入りの豚まんや飛騨牛入りコロッケ等、どれも僕の好きな物ばかりで、どれにしようか迷っていた。すると、小学校低学年ぐらいの男の子が、蒸気で蒸されている

豚まんを見て母親に「豚まん買って」とせがんでいた。しかし、その母親は「だめ」と繰り返し、男の子に言い聞かせようとしていた。男の子も引かずに「買って」と何度も頼んでいた。すると、母親はあの言葉「だめだめ、豚コレラだよ。買わないよ。」を発したのだ。そして、男の子は豚まんをあきらめて行ってしまった。僕は、そのやりとりを見て、なにか心に引っかかるものがあり、やりきれない気持ちになった。

車に戻ってからも「だめだめ、豚コレラだよ」という言葉は、僕の心の中にもやもやと残った。なぜ、こんなにその言葉が気

になったのか。それは、僕が小学校五年生の時にクラスの子から言われた、あの言葉と同じ、嫌な雰囲気がしたからだ。

小学校五年生の時、授業中、先生に当てられて僕が発表すると何人かがクスクス笑うようになった。次第に、笑う子が増えていき、僕の外見を面白がっているのだと分かった。僕は、みんなから避けられている。そう思うと、学校にも行きたくなくなり、悲しくなった。それまで仲が良いと思っていた友達とも気まずくなり、しゃべれなくなった。友達が他の子と一緒に笑っているのを見ると、きっと自分のことを言われているのだろ

うと思った。僕は、悔しくてたまらなかった。

しばらくして、僕が苦しんでいることを家族が知り、学校の先生に何度も話をしてくれた。そのおかげで、笑われることはなくなっていた。でも、今でもあの苦しかったことを忘れることはない。僕のことを笑っていた子を見ると、自分からは声をかけることができない。また、変なことを言われるのではない、いつも頭の中にある。「だめだめ、○○だよ」の○○は、今になっても、僕の心に突き刺さり、僕の中に残っている。

その嫌な言葉と「だめだめ、豚コレラだよ」は、僕の心の中で同じ響きとしてひっかかったのだ。僕は、僕の顔や体のことを悪く言われ、おもしろがって笑われた。豚ま

んは、豚コレラのことをよく知らないのに、危険だと決めつけられ、悪い噂だけが勝手に広まっていた。そのことが、自分と重なって思えたのだ。風評被害と言うらしいが、僕も、豚まんも、本当のことを知らない人によって差別されていることが同じだと感じた。

世界平和は、誰もが願うことだが、実現には至っていない。すべての人間が人間として尊重され、平等であり、差別されてはならない。しかし、僕の周りにも世界でも、多くの差別や偏見があり、平和ではない。肌の色や国籍、障がいなど、大勢の基準で差を作る。豚コレラのように、間違った情報に惑わされ、偏見をもつ。大勢の意見を

正しいとし、少数を間違いとしてしまう。誤った判断が、壁を作り遠ざける。その気持ちが差別につながる。

僕はあの言葉から、大勢の意見や情報に流されず、正しく自分の目で見て判断する力をもたなくてはいけないと思った。本当に大切なことは何なのか、そして、その判断が周りの人を悲しませることにならないか。偏見を持たず、素直な気持ちで接することで僕の周りの差別や偏見をなくしたい。一人一人の正しい理解と行動で、差別のない社会が作れるはずだ。そして、それが世界平和につながっていく。誰もが笑顔で生活できる社会を目指して、まずは僕から始めたい。

湯川スミ賞 「水の大切さ」

兵庫県加古川市立神吉中学校3年 平井悠翔

テレビで、砂漠の中を子供が家族のために何時間もかけて水をくみに行くという番組を見たことがあります。僕は思わず見入ってしまいました。

まず、朝起きてすぐに水をくみに出かけます。先が見えない、道もない、ただただ広い砂漠を永遠に歩きます。景色が変わることはなく、ただ太陽の高さだけが変わって光だけが強くなってきます。炎天下、やっとの思いでたどり着いた水源の水は「えっ、まさかこの水を飲むの?」と声に出してしまうような、とても汚れた水でした。その汚れた水で顔を洗い、家族の分の水がなくならないように自分の分の水は少しにして、また来た道を同じ時間、といっても重たくなった分時間をかけて戻っていきます。それが毎日の子供の仕事だそうです。

僕にとってそんなこと考えられませんでした。自分と同じくらいの年の子供や、自分よりも小さい子供の一日がこれだけで終わってしまうんだと思うとあ然としてしまいました。

日本に住んでいると、蛇口をひねったら浄水やお湯が出てくるのが当たり前で、出かけた時でもスーパーやコンビニで飲み物を買うことが出来る。食器を洗う水も、お風呂の水も、洗濯する水も、トイレの水で

さえ、あの汚れた水よりもきれいだ。

一日かけて水をくみにに行っている子供たちが僕たちの生活を見たら、どう思うのだろうか。WHO(世界保健機構)のデータで、世界に安全な水を使うことが出来ない人たちは、6億6300万人にのぼるそうです。そして、安全でない水や、衛生設備が原因となる病気によって、一日に800人以上の五歳未満の子供たちが亡くなっているそうです。日本では本当に考えられないことです。

でも、同時に、日本は水不足などで苦しんでいる国へ行き、井戸の技術を教え、現地の人と協力しながら井戸を掘り、作った井戸を維持し、現地の人たちだけでも井戸を作れるようにサポートしていると知りました。ただたんにきれいな水を送るということではなく、井戸の技術を教えるのは日本らしいなあと思いました。このような活動がどんどん広がって、世界中の水が安心して飲むことができるようになっていけばいいなと思いました。土地や気候などが違うから、簡単なことではないと思うけど、活動を頑張って続けてほしいと思います。安心して飲める水が広まれば、幼い子供たちも感染症などで命を落とすことも少なくなり、炎天下、一日じゅう水の重さに耐え、遠い道のりがあるき続けることもしなくて済むよ

うになります。水くみのために学校へ通うことが出来なかった子供たちが、学校に通うことが出来るようになります。家族のためにそれだけのことが出来る人は、きっとしっかり勉強をして、立派な人間になって、国の助けになると思います。

僕は、日本に生まれ、何も不便なこともなく、便利な物に囲まれて暮らしてきたことを当たり前だと思っていて、何の感謝もせず、何の苦労もせずに過ごしてきました。棒が当たり前だと思っていたことは、他国では決して当たり前ではありませんでした。

地球上には、さまざまな資源がたくさんあるように見えるけど、人間は毎日たくさんの資源を使っています。人間は、一日あたり最低約12リットルの水を必要としますが、僕たちは一日に約50リットルの水を使っているとされています。このように考えると、僕たちはかなりの水を使っていることが分かります。これをもとに、僕たちが今、一番早くできることは、限りある資源を無駄使いせず、大切にに使わせてもらうことだと思いました。自分は水を手放しに使っていたので、これからは、水の無駄使い、もちろん、他のことでも無駄使いをしないように、この人権作文で学ぶことができた。

国会委員会がチョウドリ元国連事務次長と意見交換会を開催

2019年12月9日午後4時より、衆議院第一議員会館特別室において世界連邦日本国会委員会関係者とアンワル・K・チョウドリ氏の意見交換会が行われた。チョウドリ氏は、バングラデシュ出身で、国連大使（常駐政府代表）を務め、1999年に起草委員会の委員長となり国連総会で平和と文化の宣言と行動計画を採択。2000年には「女性と安全保障」を結びつけた「国連安保理決議1325」採択に奔走し、結実させた。その後国連事務次長、国連総会議長上級顧問等を歴任。現在は、毎年開催される国連総会平和の文化ハイレベルフォーラム議長などを務めている。なお、2019年は平和の文化宣言採択20周年、2020年は1325採択20周年にあたる。

チョウドリ氏は、静岡市長や鯖江市長、この日参加した各社長（後述）が国連SDGs推進会議において大きく貢献したことを評価した。また、株式会社ヴィエリス社長・世界連邦ユースフォーラム事務次長の佐伯真唯子氏が国連決議1325解説小冊子を作ったことを紹介し、「小冊子」と「平和の文化のバッジ」を衛藤会長らに贈呈した。バッジは手で平和の象徴・ハートを形作っている様子を表しており、一人ひとりが平和に貢献してこそ平和が達成されるという意味を示している。

今回の意見交換会は氏の来日の機会に開催されたものであるが、臨時国会の閉会日と重なった上、午後1時に予定されていた本会議が午後4時半に変更になった。そのため、当初出席予定の議員が欠席を余儀なくされ、国会議員の参加が衛藤征士郎会長と山川百合子衆議院議員のみとなったのは残念である。

一方、政府・国連関係・学界・経済界など各界からの意見交換ができたのは有意義であった。外務省・女性参画推進室より松田友紀子室長と与那嶺涼子外務事務官、元国連事務総長特別代表の長谷川祐

弘氏（グローバルガバナンス推進委員会座長）、学界から上村雄彦氏（横浜国立大学教授）、経済界からは上記の佐伯社長のほか、次の4氏が参加。日本最大のファッションイベント「東京ガールズコレクション」を主催する株式会社W TOKYOより村上範義社長とチーフプロデューサーの池田友紀子氏。相模屋食料株式会社社長の鳥越淳司氏、経営戦略コンサルタント事務所（MORRIS STRATEGY & DESIGN CONSULTS, LLC）の毛利努代表。短い時間ながら濃い意見交換ができた。

（塩浜 修）



会員の声 世界連邦を実現する方策のさらなる探究を 名古屋支部 今井 康博

世の中には、世界連邦を作るという構想に懐疑的な人がいます。その数は世界連邦運動が始まった頃より増えているようです。その人達は世界連邦という体制そのものに懐疑的というより、その実現性の低さを問題にしていると思います。実現の目途がほとんど立たない運動をするより、もう少し実現性の高い運動をした方が世のためになるのではと考えているようです。

私は、世界連邦は必ずできると信じていますので、世界連邦運動を続けたいと思っています。そこで世界連邦運動協会は世界連邦の有益性を強調するより、世界連

邦を実現する方策の探究に、その持てるエネルギーをもう少し多く配分してほしいと願っています。

当協会は、世界連邦実現の条件を整える運動を推進しています。急がば回れということわざもあります。その運動は有意義なものであり、推進した方がいい。しかし、いろいろ探究すれば世界連邦実現への近道が見つかるかも知れないので、世界連邦を実現することに直接結びつく方策も探究した方がいいと思います。

国際司法裁判所などの裁判制度を充実することは世界連邦を実現するために必

要なものです。裁判所の裁定に各国が従うという体制が出来ていなければ、裁判（国際法）により紛争を解決することはできません。南シナ海の問題で中国は裁判所の裁定に従っていない。これがまかり通ってしまうのは、中国が強大な軍事力を有しているからです。やはり各国が保有している軍備を一つの主権の下に統一した体制（世界連邦）を実現するしかないのです。厳しい国際情勢ですが、世界連邦実現に直接強く結びついた方策の探求にも力を入れた方がいいと思います。

また、貧困をなくすこと（所得の格差を

少なくすること)、気候変動を少なくすること(炭酸ガスの排出を少なくすること)、グローバルタックス(国際連帯税、タックスヘイブン)などの問題を解決(達成)すれば、世界連邦が実現しやすくなるでしょうが、逆に世界連邦が出来れば、上記課題は格段に早く解決(達成)できるという側面もあると思います。さらに、核兵器を廃絶することは世界連邦実現の条件を整えることになるでしょうが、アインシュタインは逆に、世界連邦を実現しなければ核兵器の廃絶はむずかしいと考えました。

世界連邦を実現するためには、世界連邦実現の条件を整える運動を推進すると同時に、世界連邦実現に直接結び付く方策も、できるだけ多くの協会員が参加して探究した方がいいと思います。そこで、世界連邦実現に直接結び付く方策の一例を、まだ十分に検討したものではありませんが、少し書かせていただきます。

もし世界のすべての国が世界連邦建設に参加する用意があると表明(宣言)すれば、世界連邦実現の可能性は高くなるでしょう。日本はすでに、世界連邦運動協会や国会委員会の方々の努力により世界連邦実現への道の探求に最大限の努力をすると国会で決議しています。そこで「世界連邦実現への道を探求し、世界連邦を結成する用意がある」と表明(宣言)する国を世界中に増やす運動に力を入れようという提案に注目します。この提案は以前にもなされたように思いますが、現在日本でも世界でも主要目標にはなっていないようです。

この運動を推進するためには世界の世界連邦運動協会、特にアメリカの運動協会と協力する必要があります。現時点で、世界連邦実現への道を探求し、発足すれば加入すると決議(宣言)してくれる国がどのくらいあるか分かりませんが、日本は既に宣言しているし、EU諸国は参加してくれると思います。アメリカは世界連邦実現に際し中心的役割をはたしてほしい国です。確かにイスラエル・パレスチナ問題などで World peace through world law を実践しているとは言いがたい。それでも民主主義国のリーダーであり、世界最強の軍事力を持つ国です。この国の積極的参加がなければ世界連邦の実現はむずかしい。ただアメリカはもともと世界連邦実現に積極的であったので、アメリカの運動協会とともに働きかければ、かなりの難事業とは思いますが、World peace through world law を実践する国となり、世界連邦実現に協力してくれるものと期待しています。

次にロシア、中国など武力を背景に言論統制をして政権を維持している国々は、世界連邦設立当初から世界連邦に加入するということは期待できない。もし加入すれば言論統制ができなくなり政権を維持出来なくなるからです。

その他の国々は、世界連邦に加入すれば大きなメリットがありデメリットは少ないと実感できた場合、世界連邦に加入することになるでしょう。EU で起きた、ギリシャやイギリスの問題を十分に検討して、加入した場合のデメリットをできるだけ少なくする必要があります。世界連邦を立ち

上げる際、あまりに理想的な多くの課題を一気に実現しようとは思わない方がいいでしょう。世界連邦に加入していなかった時のほうが、生活レベルは高くはなかったが、平穏な暮らしができていたなどと思う国が発生しないよう、十分に留意する必要があります。

世界連邦はすべての国が参加して設立すべきものですが、それには長い年月を要します。そこでアインシュタインや荻野氏の考えを取り入れるのがいいと思います。

世界連邦に加入すると宣言した国が過半数をはるかに上回る状況となった時点で世界連邦を設立すると、肝心のロシアや中国が参加していない状況でしょうから、世界連邦とは呼べないほど不完全なものとなります。それでも立ち上げた方が世界連邦実現の時期が早くなったと言えるように、色々な施策の実現に努力すべきです。ロシア・中国との武力衝突が起こらないように、世界連邦側としては、侵略されそうな場合は断固反撃するが、他国を侵略することは絶対に行わない、むりに加盟国を増やすことはしないと宣言するのです。強大な軍事力を有するアメリカを中心に大きな集団を作っているのだから、むりに加盟国を増やすことをしなければ、ロシア・中国が戦争を仕掛けて来ることは考えにくい。

世界連邦に加入した国の人々は平和で豊かな生活を送り続けているということを示せば、未加盟国の人々も世界連邦に加入できるよう自国を改革して、世界連邦に加入するものと期待しています。

日本政府は温室効果ガス排出削減目標引き上げを

気候変動に関するパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて2°Cより十分低く保つとともに、1.5°Cまでに抑える努力をする」という目標を掲げている。それに基づき、各国が温室効果ガス排出削減の国別目標を設定することになっている。しかし、現在各国が提出している2030年までの削減目標を足し合わせても、2100年までに約3°Cも気温が上昇してしまうというのがIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告である。

各国は目標値を5年ごとに見直し、再提出することになっており、今年2020年11月にグラスゴーで行われるCOP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議)が再提出の初めての機会である。日本政府は現在「2030年までに2013年比で26%削減」という目標を提出している。これはEUの「1990年比で40%削減」という目標をはるかに下回る。40%と26%という差のみならず、「2013年比で26%削減」は1990年比では「18%削減」に過ぎない。しかも

EUは55%削減目標を再提出する方向で検討に入っているのである。

グレタ・トゥンベリさんらの呼びかけにより、子どもたちが金曜日に学校を休み、気候変動に真剣に対応するように求めて行動を起こしている。これに答え、子どもたちに住みやすい地球・美しい自然を残すのが私たち大人の責任ではないか。日本政府が削減目標を大幅に引き上げることを強く求めたい。

(塩浜 修)

第4回富士山大賞授賞式を開催

2月8日、東京都中央区の日比谷公会堂において第4回富士山大賞授賞式が行われた。富士山大賞は富士山に関する短歌を表彰するものであり、世界連邦文化教育推進協議会と富士山講睦会が共催、外務省・経済産業省・環境省・文化庁・國學院大學・富士世界遺産国民会議が後援している。

世界連邦文化教育推進協議会は、日本の文化力の向上と海外との文化交流を通じ、未来の世代への教育の振興を推進することで、世界中の人々が平和に向けて手を取り合っていくことを目指し、2013年に設立された。毎年「推進大会」を行うほか、留学生による文化体験などに取り組んでいる。同会の宍野史生理事長が富士道神道扶桑教の管長であることもあり、富士山大賞を共催し、宍野理事長が授与式の司会を毎回務めている。

今回は小池百合子東京都知事が挨拶し、また、大賞受賞者への授与を行なった。

私(塩浜)は第1回授賞式から毎回参加している。当初、富士山の美しさを美しい言葉で詠むお堅いものを想像していたが、それは誤解だった。多くの歌は家庭・学校・

仕事など、生活と結びつけて富士山をとらえている。中には次のようなクスリと笑ってしまうものもある。

ここからは富士が見えなくさびしいと
わたしがいるのに妻がつぶやく
手の甲をひょいとおつまんで「ふじさん」と
世界を知らぬ子らは笑えり

審査員による「講評」は大変勉強になる。思えば、学校の国語の授業では「体言止めの句をすべて選べ」「や・かな・けり」などを何と言うか(切れ字)など、技法を覚えることが中心だった。

山頂の笠雲はもう消えていた
日本の白い臼歯が笑う

という歌は、誰しも富士山を描く時に全体を水色にして白い雪を書き、白と水色の境界をギザギザにする。白い雪の部分に笑った歯に見立て、しかも大笑いして臼歯まで見えていると考えたものである。このあたりは講評を聞かないと魅力に気づかなかったであろう。

人権・多様性に関連するものとして下記の例もある。

障害を持つ子の願い叶えんと
登山サポーター富士に集えり

外国語の短歌の応募もあり、しかも年々増加しているという。富士山大賞は世界連邦を直接論ずる場ではないが、文化交流を通じて相互理解を深める点で世界連邦が目指す目的につながる意義深い取り組みである。

(塩浜 修)



小池百合子東京都知事

世界連邦運動協会青梅支部60周年記念事業

令和2年2月1日(土)、世界連邦運動協会青梅支部は、設立60周年を迎え60周年記念事業および平和事業を開催しました。60周年記念事業では、来賓や会員の方々など約30名が青梅市梅の公園に向き、晴天の中、恒久平和の実現を願い、紅白二本の梅の記念植樹を行いました。青梅支部長の青木雅孔氏は「一つの声は小さくとも、一つ一つの積み重ねが大きな力になるものと信じています。先人の諸先輩方の功績を誇りに、これからも恒久平和の実現に向け着実に活動してまいります」と挨拶されました。青梅市長の浜中啓一氏

からは、創立60周年に寄せてお祝いの言葉と、世界連邦という理念のもと、青梅支部と手を携え、しっかりと平和活動に取り組んでいきたいとのご挨拶をいただきました。青梅市議会議員の久保富弘氏からも祝辞をいただきました。平和事業では、青梅市役所にて小学生平和ポスター展青梅支部入賞者の表彰式が行われてから「紛争下を生きる子どもたち」セーブ・ザ・チルドレン職員による講演会が開催されました。

(川口 美貴)



2020年度定例総会招集告知

下記のごとく世界連邦運動協会 2020 年度定例総会を開催しますので、ご出席ください。

(※新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期の可能性もあります。また開催場所も変更の場合があることをご了承ください。)

日時: 2020 年 5 月 9 日(土)

午後 1 時～午後 4 時 30 分

場所: JICA 地球ひろばセミナールーム 600
(東京都新宿区市谷本村町 10-5)

議題:

- ① 2019 年度会務報告に関する件
- ② 2019 年度決算・監査報告に関する件
- ③ 2019 年度運動方針・活動計画に関する件

④ 2020 年度予算に関する件

⑤ 理事・監事選出に関する件

⑥ 支部提案

⑦ その他

<注 1>

総会は支部および団体会員から選出される代議員と役員によって構成されます。会員はオブザーバーとして出席することができますが、会場の席数に限りがありますので、出席希望される方は予め申し出ください。

<注 2>

支部提案のある支部は支部名、提案題名、発表者名を 4 月 10 日までに事務局ま

で送付してください。お早目に提出いただくと、事前に理事会などで話し合い、深く検討することが可能になります。なお、当日の提案理由は簡明に述べ、所要時間節減にご協力ください。

<注 3>

「JICA 地球ひろば」の最寄駅は市ヶ谷駅
地図

<https://www.jica.go.jp/hiroba/about/map/>



本部と支部の主な動き

2 月 6 日 世界連邦日本宗教委員会と日本国際文化協会
新年会
2 月 13 日 グローバルガバナンス推進委員会(以下 GG 委)
軍縮分科会

3 月 11 日 GG 委国際連帯税分科会
4 月 9 日 GG 委答申発表
5 月 9 日 世界連邦運動協会総会

編集後記

☆人類は危機の中から大切な気づきを得て進化してきたように思います。明けない夜は無いと思って力を尽くします。(野田) ☆埼玉支部さんのお声がけで埼玉出身の議員さんが 3 人、民社協会事務局さんのお声がけで民社協会系の議員さんが 3 人、国会委員会に入会した。こういうお声がけは本当にありがたい。(塩浜) ☆WHO(世界保健機関)は、数ある国際連合機関のなかでも、天然痘撲滅に成功したように、とりわけ功績が大きい機関ですので、世界連邦実現の道を検討するとき、WHO の在り方は大いに参考になると思います。パンデミックは一国では解決できない問題ですから、WHO が世界連邦に通じるような働きをしてパンデミックを抑え込むことに成功すれば、世界連邦の実現にも貢献することになります。(平口) ☆新型コロナウイルスの感染が不安視される中、第 48 回ポスター・作文コンクールの表彰式には入賞された学生さん、ご家族の皆さん約 70 名にご参加いただき、無事終了いたしました。ポスターも作文も力作ばかりで感動しました。ご協力いただきました各支部のご担当者の皆様、ありがとうございました。(川口)

編集委員会 / 委員長: 野田武志 副委員長: 塩浜修・平口哲夫・川口美貴 委員: 谷本真邦

あなたも世界連邦運動協会の会員になって一緒に活動してみませんか

入会希望の方は、郵送かFAXまたはEメールにて、住所・氏名・電話番号・メールアドレスを本部事務局へお知らせください。またEメールでお申し込みの場合は、件名に『入会申し込み』と明記してお送りください。

普通会員年額5,000円 維持会員年額10,000円 賛助会員年額15,000円



WORLD
FEDERALIST MOVEMENT
OF JAPAN

世界連邦運動協会 本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-2-17 赤坂中央マンション303

電話 (03) 6438-9442 FAX (03) 6438-9443

E-mail info@wfmjapan.org